

ローカル発・シニアのための最新情報

スポーツも人生も後半戦がおもしろい・ハワイで過ごすアクティブライフ!

発行：ハワイシニアライフ協会 (HISLEA)

Hawaii Senior Life Enrichment Association

Eメール: info@hawaiiseniorlife.org Tel: (808)428-5808 Fax: (808)396-1140 住所: P.O. Box 25355, Honolulu, HI 96825-0355

「ハワイ便り」は毎月5日発行です。諸般の事情により2~3日前後する場合がありますのでご了承ください。

Eメールアドレス、住所等の変更がありました場合は、必ずご連絡くださいますようお願いいたします。

2013年 お友達紹介キャンペーン

新会員ご紹介につき次のようなインセンティブを差し上げます。今後共たくさんの新会員のご紹介をよろしく願いいたします。

【日本会員】 個人会員お一人につき 1000円の商品券、法人会員社につき 5000円の商品券 (全国共通百貨店商品券)

【ホノルル会員】 個人会員お一人につき 10ドルの商品券、法人会員社につき 50ドルの商品券 (アラモアナ Gift Certificate)

キャンペーン期間: 2013年2月1日~2013年9月30日

ご参加方法: ご紹介いただく新会員の入会申込書の紹介者欄に紹介者名の記載のあるものを有効といたします。

(6月末と10月末に4ヶ月分を集計して日本在住会員様へは日本地区本部から、その他の地域在住の会員様へはハワイ本部より商品券をお送りいたします。)

たくさんの会員の皆様から新しい入会会員のご紹介をいただいております。(カッコ内は紹介会員数) *6月30日現在登録済み分

個人会員: 奥津博様(44)、馬場弘人様(23)、木下高志様(16)野田省三様(9)、坂井諒三様(6)、加賀見岩雄様(4)、米野豊様(4)、山内征三様(4)、山中毅様(2) 寺田晋太郎様(2)、もりもとよしこ様(2)、吉田千良様(2)、佐々木美鈴様(2)、相崎一男様(2)、竹澤美恵子様(2)、中野亜紀様(2)、伊藤雅規様(2) 斎藤文幸様(2)、岡田誠様(2)、田中久雄様(1)、中野正之様(1)、片山邦夫様(1)、フクダテリ様(1)、鈴木ちよ様(1)、青山治美様(1)、川畑孝則様(1) 庄野泰輔様(1)、吉見好恵様(1)、Yoko Maadie様(1)、小林岩夫様(1)、かねずかみつえ様(1)、Ing清子様(1)

法人会員: 坂井諒三様(3)、馬場弘人様(2)、田中久雄様(1)、野田省三様(1)

*キャンペーンの前半(2月1日~5月30日)分のギフト券の発送が少々遅れております。誠に申し訳ありませんが、もう暫くお待ちください。

採りたてフルーツ試食ツアー

6月18日(火)

深田マコさん(理事)

HISLEAウィークに今回はじめて企画した「採りたてフルーツ試食ツアー」は、果物好

きの人たちの興味をそそり、定員数の2倍以上もの申し込みがありました。

ワイマナロにある広大な果樹園には、高級トロピカル・フルーツを始め、ハワイでも珍しいエキゾチックなフルーツ・ツリーが

200種類以上あり、季節ごとに旬のフルーツを試食できます。私達は2組のグループに分かれ、ベテランガイドの解説を聞きながら、今まで見たこともない珍しいフルーツを観察したり、試食しながら果樹園内を見学。最初はメモなど取っていた私も余り多くて途中で挫折!でも、これだけフルーツの知識を得れば、無人島のジャングルでも生き残れるかも知れない・・・なんて思いながら、ふむふむ舌きながら歩くこと50分。少し足が草臥れ、お腹もすいた頃に嬉しい「おむすび弁当」。これまた日本人の胃には嬉しいお味でした。それにもまして、ピクニックテーブルに山積みされた珍しいフルーツ・オン・パレードには、目を見張るものがありました。次から次へと試食するうちに満腹。緑豊かな果樹園での完熟フルーツ試食会は、まさに至福のひと時でした。参加者全員、満足度200パーセントのツアーとなりました。



ビショップ博物館見学ツアー

6月23日(日) プアラニ サヨコ 丹野さん(会員)

以前に2回ほど個人で訪れたことがありますが、今回はHISLEAウィークのイベントで参加しました。日本語ドールセント野田治江さんのボランティア暦10年にもなる華麗なる説明で、ハワイ文化、歴史の良い勉強をさせていただきました。ハワイ、ポリネシアの貴重な資料、遺産等が集められ、古代の生活様式の解る住まいなど、日本語による丁寧な説明で、良く理解ができました。又、プラネタリウムでは、6月のハワイの空の星座、そして、古代星を見ての航海の様子等々、日本語での詳しい説明は、楽しい航海と空のひとときでした。今回、初めてHISLEAウィークのイベントに参加いたしましたが、理事の皆様ボランティア精神に深くふれ、感謝いたしております。特に深田マコさんの丁寧に下調べをなさったプランニングの数々に、私の知らなかった“HAWAII”に触れることができ、深い喜びの一週間、価値ある一週間となりました。心から感謝申し上げます。MAHALO!

気功と私

大槻悦子さん(会員)

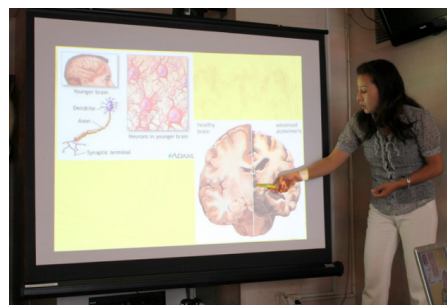
私は30年間住み慣れたサンフランシスコから3ヶ月前にハワイに越して来ました。ハワイでの生活に一日も早く慣れたいと思っていた時にHISLEAの存在を知り会員にさせていただきました。HISLEAは日本とハワイに会員がおりイベントも盛り沢山で其の中でも毎週土曜日にアラモアナ公園のマジックアイランドで行われていると言う気功に興味を持ちました。気功がどんなもので有るのか調べてみましたら『気功』とは気(生命のエネルギー)によって自己の免疫力、治癒力や調整力を高めて健康のレベルを上げ自養蘇生(自らの生命を養う)する事を目指す健康法だという事を知りました。それならやらない手は無いと思い早速参加させていただきました。土曜日の早朝、冷たい水で顔を洗ってアラモアナ公園に向かって飛び出していく快適さも知りました。

公園に着くと沢山のメンバー達が集まっていて7時半からの1時間、二人の講師による気功がスタートします。

目の前は真っ青な海、青い空と芳しい南国の風、天と地の気を一杯体に吸い込んで吐いてと繰り返しているうちに心身共に軽くなっていくのが感じられます。気功が終るとアラモアナショッピングセンターのフードコートに行きコーヒー等飲みながら会員同士でワイワイとおしゃべり会です。情報交換の為の貴重な一時です。お蔭さまでハワイの生活も軌道に乗りつつあって幸せです。

セミナーと情報交換会

7月12日(金) 近藤利雄さん(会員)



「認知症のサインと予防」という演題で、看護師の西村ちえさんの講演を拝聴し、人間は必ず年齢を重ねて行くものであると再認識しました。私自身も71歳に成りましたが、日常の中でできる認知症予防の話は勉強になりました。

認知症予防に良い食べ物の代表として大豆類の納豆、豆腐、オリーブオイル、カラフルな野菜、果物等が良いとされている。又、ウォーキング、ヨガ、気功など、体を動かしたり、頭を回転させたり、五感を刺激することが一番大切だとのこと。データによると日本人は、65歳以上で10人に1人、85歳以上になると4人に1人が認知症になるそうです。ハワイ・シニア・ライフ協会の皆様は色々な面で活躍され、認知症とは無関係の生活を送られております。私たちは、お互いにボランティア活動にも参加し、ボケ防止に精を出したいものです。

アイエア・リッジ・トレイル ハイク

7月21日(日) 野口純世さん(会員)

出発前に、今回は「セミナーハイク」という

趣旨だと、シエラクラブのリーダーから参加者にアイエア・リッジで見られる植物の一覧表が手渡された。

子供や犬を連れた地元の人達に人気があるらしいアイエア・ループ・トレイルの途中から、少し難易度が上のアイエア・リッジ・トレイルへと分岐してコオラウ山脈のピークに向かうコース。1920年代に浸食を防ぐために外来種である40種類以上のユーカリが植林されて大きく育っている様子、花や実、シダ類等の名前、昼間鳴いているコロロギは在来種であることなど今日のリーダーであるクライドの興味深い説明に耳を傾けながら進む。

蒼空にもかかわらず尾根伝いの細道は途中ぬかるみも多かったが、H-3が白く大きくうねって豆粒のような車が見下ろせたり、海側にはエアポートから飛び立つ飛行機が遙かに見えたりする。頂上に着くと、遠景の山肌に様々な明度と彩度で生い茂る一面の緑の多様性に息を吞んで立ちつくしてしまった。特にクワイの木々の薄い緑が模様のように綺麗に並んでいて、登りの疲れも吹き飛んでしまう。

話が逸れるが、ホノルル美術館ではジョージアオキーフとアンセルアダムスがハワイを訪れた時の作品展が始まったところだが、多彩で豊かなハワイの柔らかい自然を、透明に鋭角的に切り取って、静謐に凝縮した彼らの精神と技にも想いを馳せてしまった。ランチ休憩後の下りは一気、3時には出発地点に戻った。歩き甲斐のあるハイキングで、私の万歩計では1万5千歩だった。

マウイ支部

盆踊り見学

7月20日(土) 神崎洋さん(マウイ支部長)

毎年ハワイでは6月から9月まで約80ヶ所のお寺で盆踊りが開催されていることを最近知りました。ここマウイでも6月から8月まで13箇所のお寺で毎週末代わる代わるに盆踊りが行われており、ラハイナの海岸に面している浄土院ミッションでは燈籠流しもあるということですが、私達は皆さんが集まりやすい街の中心にあるカフルイ

本願寺の盆踊りを見学に行ってきました。お盆の法要が6時半頃から本堂で行われた後、盆踊りは7時半頃より始まりました。私達がお寺に着いた7時半前には既に櫓の回りに浴衣を着て踊りを披露するお寺関係者の人達がスタンバイしており、その周囲にはそれを見学する沢山の人達が集まっていました。



私達が良く知っている炭坑節が出てくるまではハッピー音頭とか謂わばお寺のオリジナルの曲で皆さん踊っていましたが、きっと皆さんしっかり練習をされてきたので、とても軽快に優雅に踊っていました。日系人以外にも結構多くの人達が浴衣を着て参加されており、今や盆踊りがマウイの夏の風物詩の1つとして人種を問わず定着していることが伺われました。炭坑節あたりになると、お寺関係者以外の人達も踊りの輪に加わり櫓の周りは沢山の人で一杯になり、次第に盛り上がってきました。私達の仲間も炭坑節は流石に知っている様で踊りの輪に入って暫し踊っていましたが、やはり練習不足とTシャツ・ショーツ姿の出で立ちに違和感を覚えたのか、炭坑節が終わると輪の中から抜け出てきました。やはり次回は浴衣か半被でも着て、事前にビデオで多少踊りの練習などもした上で参加するのがいいのかも知れません。それでも凡そ1時間程でしたが、日本からの移民の人達が砂糖キビ畑の過酷な日々から暫しの間解放され、日本を懐かしみながら仲間と共に楽しんだ盆踊りの光景をふと垣間見た様な気がし、ハワイと日本の明治時代以来築かれてきた深い絆を改めて感じました。

第35回ゴルフ月例会

7月28日(日) 神崎洋さん(マウイ支部長)

まさに炎天下のエリエール・ゴルフクラブで第35回ゴルフ会が開催されました。初出場の土山さん夫妻、久しぶりに日本から来られた南郷さん、小川さん夫妻を含め17名が参加して相変わらず賑やかで楽しいゴルフ会となりました。その結果、第35回を制したのはKanako Tamakiさんで、グロス78、ハンデ8、ネット70で堂々5回目の優勝を飾られました。2位にはゴルフ幹事のKenny Kanzakiがグロス77、ハンデ6、ネット71で入り、3位にはグロス89、ハンデ18、ネット71でMochihide Nangoさんが入られました。次回8月のゴルフ会を終えると、9月以降1年間のハンデ査定に入り、9月からは又新たなハンデで全員が優勝を競い合うこととなりますが、kanako Tamakiさんは女性ハンデのLowest 6でハンデ見直し前の最後の大会に臨むこととなります。

個人順位(敬称略)

- 1位 Kanako Tamaki (78/8/70)
 - 2位 Kenny Kanzaki (77/6/71)
 - 3位 Mochi Nango (89/18/71)
 - 4位 Yasu Ogasawara (86/14/72)
 - 5位 Yumi Ogawa (95/23/72)
- ニアピン:
- #3 Joichi Mitsuya
 - #7 Kenny Kanzaki
 - #12 Ryuichiro Ishida
 - #14 Yasuhito Ogasawara
 - #17 Hidemi Hiraga



マウイ・ホトギス会(句会)

サニー神谷さん(副支部長)

七月の兼題は「夏休み」「虹」、席題は「夏の海」で句会が行われました。特選句並びに三点句の中からHISLEA会員の句を一部紹介します。

- | | |
|--------------|-----|
| 夏の海水面に白い雲光る | サニー |
| 羨とは調和の心百合の花 | サニー |
| 船頭の木遣り響きし船の旅 | サニー |

* 寄付のお知らせ *

HISLEA本部では6月19日に第6回HISLEAチャリティーゴルフを開催し、オクラホマの竜巻被害にあった方々の支援とRainbow For Japan Kids Project(東北大震災の被災した子供を支援するプロジェクト)に2,400ドルの寄付をいたしました。マウイ支部としては、ホノルルで開催されたゴルフ会には出席できませんでしたが、趣旨に賛同し、マウイ支部運営資金の余剰金より300ドルの寄付をさせていただきましたので茲許ご報告致します。尚、HISLEA坂井諒三会長より感謝のお手紙とメールを頂いておりますので末筆ながら付加させていただきます。

東京首都圏支部

ハワイゴルフ親睦会に参加して

6月20日(木) 竜崎嘉明さん(夫婦終身会員)



東京アロ〜ハ! 人生を楽しんでいますか? 東京首都圏支部のゴルフ親睦会が、6月20日ハワイカイ・ゴルフコースで19名が参加され、行なわれました。日本の梅雨空を離れて、抜けるような真っ青な空やヤシの木をバックに美しく手入れされたグリーンの上で楽しくプレイすることが出来て最高でした。このゴルフ場はワイキキから車で25分位、タクシー(7人乗り)を手配していただけたので1人18ドルで往復出来ました。ハワイのゴルフ場は何と言っても気軽に楽しめるのがポイント! キャディも付かないので、自分のペース、そしてカートで廻る事が出来ます。勿論、自分の打った球は、自分で見つけなければなりません。

今回のハワイでの支部ゴルフ親睦会はHISLEAウイークに合わせて開催されました。前日のHISLEAチャリティゴルフと2日続きのゴルフでしたが、皆さんと更に交流を深める事が出来ました。ハワイ大好き人間の集まりで、楽しい時間を共有する事が出来ました。幹事の皆さん、どうもありがとうございました。

ハワイ懇親会参加記

6月22日(土) 穂山幹夫さん(夫婦終身会員)



HISLEA WEEKの趣向を凝らしたさまざまな行事も終盤を迎えた22日、東京首都圏支部のハワイ懇親会は開催されました。当日は、アラモアナ公園での気功エクササイズ、ロンギーズでのおしゃれな朝食もあり、早朝から夕刻まで盛りだくさんのメニューで、参加会員にとっては忙しくも楽しい一日でした。

懇親会には、ハワイ現地から坂井会長、WEEK中の各種行事に絶えずアテンドして下さった深田理事を始め4人の方々が参加、東京首都圏支部より19名、他支部より3名の、合計26名の方々が参加されました。美味なる広東料理に舌鼓を打ちながら、この週の様々な行事の楽しかった思い出などで会話がぐいに弾みました。そんな雰囲気存在は、今回の諸行事を通じて深められた会員相互間の交流の輪が、確実にそしてさらに強い絆へととなりつつあることの証左ではと史料しております。

懇親会の開催は、HISLEA WEEKの各種行事に参加をし、参加会員の方々と交流が相当に深まった後半の頃合を見計らっての、極めて時宜を得たものであり、HISLEA精神の確認と向上にも少なからず資する有

意義なものであったと思われます。アラモアナ公園の爽やかな朝の光の中で始まった私の一日は、ワイキキの優しい夜風に包まれて幸せに幕を閉じることとなりました。ホノルルでの懇親会の開催に意を尽くされた赤堀様はじめ、首都圏支部の役員の方々に改めて心よりお礼申し上げます。

第6回ハワイ情報同好会

5月28日(火) 岡安和枝さん(会員)

私がハワイシニアライフ協会に入会した理由は、まさに今回のハワイ情報同好会のタイトルです。ハワイ大学に行きたい!ハワイでロングステイをしてみたい!夢の実現?ワクワクドキドキで会場に行きました。まず目に飛び込んだのは、参加者の皆様のパワーです!ステキなアロハスタイル、アロハスピリッツ、合言葉のように、今度はいつハワイに帰るの?3日前に日本に来た!6月にまたホノルルですよ、現地で会いましょう。もうハワイが故郷なのです。東京は梅雨入り



したばかりだというのが会場は常夏でした。まず長崎さんのハワイ大学留学実体験のお話は大学の様子が手に取るようにわかりました。学生生活の1日の様子から詳しいビザ取得の仕方、レッスン内容、費用に至るまで参考になりました。そして女性の視点から見たもう一つのハワイライフ、中野さんのお話は、語学研修から始まりネイル、ロミロミマッサージ、ダンサーなど資格を取りながらハワイライフを満喫できる方法、各専門学校案内、費用、長期賃貸できる物件情報など、ただハワイに長期滞在だけでなく自分磨きも続けていく、ポジティブでアクティブな体験レポートでした。お二人のお話

会員便り・伝言板

大山先生を囲む納涼会

7月5日(金)

嶋野明正さん(個人終身会員)

日本地区本部幹部の納涼会が、大山先生を囲んでHISLEA発祥の聖地「貝鮮市場」で開催されました。宴もたけなわの頃、大山先生より馬場支部長に勝るオヤジギャグ連発のスピーチをいただき、つづいて大山先生からのお土産レーズンウィッチジャンケン争奪選、また太嶋さんからワインなど差し入れをいただき、吉田さんは「みらい出版」の取材対応など、あちらこちらで歓声が沸き起こり、熱帯夜も忘れて楽しく過ごしました。2次会も盛り上がり「シルバーフライデーナイトフィーバー」となりました。次は目黒雅叙園の「サロン de HISLEA」で会いましょう!と夏の夜の別れを惜しみつつ、ハワイではなく日本で「フラフラ」しながらご機嫌で帰宅しました。日本支部幹部会は、毎回熱く盛り上がり皆楽しみにしています。馬場さんに感謝・感謝です。

昨年のヨットクラブでの独立記念日の花火から1年、時の経つ速さを実感しつつ、「人生は後半戦が楽しい」のキャッチフレーズのようにしっかり元気で楽しく皆様と一緒に遊びたいと思いを強くしました。

会社では皆疲れ萎れているのに、なぜシニアの皆様はこんなに元気でエネルギッシュなのだろう?と圧倒されつつ、聖火リレーのように皆様のこのパワーをいただいて、HISLEA NEXTの中心メンバーで活動するために準備しておこう!と感じています。HISLEAの素晴らしい集まりが未来永劫続くよう、次を担う元気な50代の「HISLEA NEXT 50sメンバーの会合」も近日中に開催する予定です。

は私にとっても興味深くとても楽しいひとときでした。夢の実現へ背中を押され、勇気をもたらした同好会でした。参加して良かったです。スポーツも人生も後半戦がおもしろい!これからも色々な情報提供お願いいたします。ありがとうございました。

鹿児島支部

設立親睦会

7月19日(金) 是枝真紀さん(事務局・終身会員)

満を持して鹿児島支部が設立されました。上原昌徳顧問、川畑孝則支部長、山田洋子副支部長の役員をはじめ35名のご参加をいただき設立親睦会が開催されました。馬場日本地区本部長の故郷ともあって、開催直前までお申込みを頂き、既に顔なじみの方々の熱気が感じられました。

当日の日中には、馬場日本地区本部長が南日本新聞(本地方を独占し約40万部を発行する。)の取材を受け、顔写真入り記事として近々掲載される予定で当協会支部の広報が県内全域に行き渡ることになります。

夜の親睦会では坂井会長のお祝いメッセージを馬場日本地区本部長が代読され、フラダンスショー、そして各会員の自己紹介ではハワイでの甘い思い出や珍事件エピソードに会場は沸き、初めて出会った方々とも楽しく交流できる会合となりました。閉会時には皆さまが笑顔で再会を約束することとなり、これまで馬場日本地区本部長と川畑支

部長のリードにより設立や親睦会の準備を進めてきた苦勞が、報われたように思われました。次回のイベント開催を希望されるお声をたくさん頂き、鹿児島でハワイつながりが作れる楽しい支部へと成長しそうです。



シリーズ — 健康 —

大腿骨頸部骨折

大山廉平さん(会員・顧問)

人は年を取って自分自身の事で願うものが二つある。一つは長生きをしたい。他の一つは、ぼっくりと死にたい。相反した願いである。年を重ねての不安は、「寝付く事」である。病院でのお見舞いには鉢物はタブーである。なぜならば鉢物には根があり、「寝付く」に通じる所以である。還暦をすぎた頃から、種々な病に罹る事が多い。特に脳血管障害(脳血栓、脳梗塞、脳出血など)後などは、意識状態の低下および運動機能の低下により、寝付いてしまう事が多くなる。発症直後から早期のリハビリテーションに務め、可能な限りの回復に努めなければならない。

これとは違った要素で寝付く事もある。本日のテーマである「大腿骨頸部骨折」である。主に70歳以後の女性の高齢者に多い外傷である。高齢者では骨粗鬆症により骨が弱くなり、骨折を起こしやすくなる。大腿骨とは両下肢の太い骨であり、ちょうど握り拳をした前腕に似ており、曲がった手首が頸部に相当し、骨盤に接し、股関節を形成する。その拳の部分での骨折である。骨折した部位により、内側骨折・外側骨折に分けられ、手術法が変わる。同部の骨折における保存的(手術をしない)治療では関節は固定されてしまい、運動機能は著しく低下し、寝付く事になる。そこで、内側骨折では骨頭置換術、外側骨折では骨折部の固定術が推奨される。骨頭置換術では、折れた骨頭の治癒回復力が低いため、人工の骨頭を入れ、関節の可動を可能な状態を導くためであり、骨折部を補強し、治癒までの間に素早くリハビリを進める目的もある。

患者さんやご家族の皆さんの中には、「今更手術はしたくない、させたくない・・・」とお考えになられる方がおられます。然し乍ら、現代の麻酔は比較的高齢者でも安全であり、手術にて安定した成果が期待されます。何よりも早期離床・早期リハビリの開始であり、今後の生活の質の維持が望まれる。寝たきり生活になるのか、今までの生活に戻る事を目指すのかです。人は寝たきりになると、知能の活動も低下しがちとなる。不幸にしてこのような外傷の際には、果敢な手術と早期リハビリを心がけて下さい。もう一つ、気をつけなければならない骨折があります。高齢者が転んだり、尻餅をついたりした時に起こす胸椎・腰椎の圧迫骨折です。背骨を形成している胸椎・腰椎がつぶれます。よほどの事が無い限り、手術をする事無く、コルセットなどで保存的に治療しますが、これもまたご用心です。

(東京都済生会中央病院および渋谷診療所顧問 読売診療所所長)

ハワイアナ

ヒロ

浅沼正和さん(ビショップ博物館ボランティアガイド)

ハワイ島東部のヒロの町は北東に向いて広がる湾曲した湾に面しています。ヒロはハワイ語で「新月」や「曲がる」を意味しますので、この湾の形から町の名が生まれたのだと思われそうですが、ポリネシアの有名な航海士に因んだ名称だとの説もあります。キラウエア火山国立公園への玄関口として賑わっているものの、最近リゾート開発が

進んだ島の西側のコナに人気を奪われてしまった感があります。しかしヒロはハワイ文化を勉強するには最適の町です。イミロア天文学センターもその一つです。天文学の解説ばかりでなくマウナケア山やハワイ文化の興味深い展示もあり、ハワイそのものを知るにも格好の博物館です。ヒロは過去に大きな津波の被害を受けたことから町の中心街に太平洋津波博物館が在ります。この博物館はチリ地震津波の際に、堅固な建物だったために被害を免れた銀行の建物をそのまま使っています。ハワイ島を訪れる時は、古い街並みも残るヒロの町にも足を延ばす事をお勧めします。



イミロア天文学センター (写真提供: 同センター)



太平洋津波博物館

Mahalo

伝えていこう "アロハの心"
ハワイと日本から世界に向けて

ご寄付をいただきました。

(\$500) 相良和子様 (\$100) 吉川等・千恵子様
(\$70) 山藤義憲様 (\$50) 斉藤文幸様、川村卓司様
(\$30) 島崎要子様

*ゴルフのソニーオープンの収益金を運用していますFRIENDS OF HAWAII CHARITIES様より2013年度分として\$3,000のご寄付をいただきました。

*6月19日に開催されましたHISLEAチャリティゴルフで参加者を始め、たくさんの企業様、個人様、そしてマウイ支部様からご寄付をいただきました。

2013年6月1日~30日

ありがとうございました。

医療相談

名医による無料健康相談

大山廉平ドクター

(会員・顧問/東京都済生会渋谷診療所所長)

日本語クリニック

ワイキキ緊急医療クリニック

堀育史院長

会員証を提示すると、初回無料相談、血圧測定、滞在中のアドバイス、専門医の紹介等を受けられます。

Bank of Hawaii Bldg. 3階

☎ (808) 924-3399

Eメールで気軽に相談できます。

ご希望の方は、①姓名、②会員番号、③返信用Eメールアドレス、④病歴、⑤相談内容を下記メールアドレス宛お送りください。ご本人のみならず、ご家族お知り合いの方、病気と断定できないことでも健康のことでしたらなんでもご相談ください。

Eメール: oyama@saichu.jp

(編集担当: インフォメーションコミッティ 石毛克祐)

インフォメーションセンター

イベント申し込み等にご利用ください・事故、病気等緊急の際は24時間電話相談受付(5時以降は緊急相談のみ)

場所: ワイキキビジネスプラザ11F #1108A (2270 Kalakaua Ave)

電話: (808)428-5808

電話対応: 毎日午前9時~午後5時(日本時間: 午後2時~午後10時)

ヒスレア・オアシス お待ち合わせ、懇談にご利用ください。(1回のご利用は1時間程度でお願いします。)

朝日新聞、ハワイ報知の閲覧、インターネットを無料でご利用いただけます。日本語の図書もあります。

場所: c/o Plumeria Lounge ワイキキショッピングプラザ地下1階「るるぶ」デスク奥 2250 Kalakaua Ave. B1F #LL-111

利用時間: 毎日午前9時~午後5時

当協会の概要、入会案内: www.hawaiiseniorlife.org をご覧になるか、パンフレットをご請求ください。